

平成17年11月30日

各 位

東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1  
アース製薬株式会社  
代表取締役社長 大塚 達也  
(コード番号：4985 東証二部)  
問合せ先 経理部部长 田中 精一  
(TEL. 03-5207-7459)

### 東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成17年11月30日に東京証券取引所市場第2部に上場いたしました。  
今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
上場に伴い、当社の最近の決算情報等につきまして別添のとおりお知らせいたします。

別添：平成17年12月期 第3四半期財務・業績

以 上

平成17年12月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年11月30日

上場会社名 アース製薬株式会社

（コード番号：4985 東証第二部）

（URL <http://www.earth-chem.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大塚 達也

問合せ先責任者 役職名 経理部部長 氏名 田中 精一 （TEL：(03)5207-7459）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 （内容） 1. 棚卸資産については実地棚卸を行わず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎とする帳簿残高によって算定しております。  
 2. 法人税等の会計処理については、一部簡便な方法により税金費用を算定しております。  
 3. その他影響額が僅少な項目につき、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 （内容） 連結（新規） 1社  
 （平成17年5月に殺虫剤、日用品の製造販売を目的として中国蘇州市に安速日用化学（蘇州）有限公司を設立しました。）

2. 平成17年12月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年1月1日～平成17年9月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況 （百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第3四半期	73,153	(2.4)	9,974	(4.8)	10,174	(4.4)	5,508	(△8.6)
16年12月期第3四半期	71,412	(—)	9,519	(—)	9,744	(—)	6,025	(—)
(参考) 16年12月期	80,188		4,939		4,924		2,986	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年12月期第3四半期	320	28	—	—
16年12月期第3四半期	350	31	—	—
(参考) 16年12月期	171	74	—	—

（注） 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。但し、平成15年12月期第3四半期の決算を行っていないため、平成16年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国の経済は、原油価格の高騰など懸念材料は残るものの、企業収益の改善や設備投資の増加に加え、個人消費も持ち直すなど、総じて回復基調で推移しました。

当社グループの主力事業が属する日用品業界におきましては、依然としてデフレ圧力が解消されない中、メーカー間の熾烈な競争が激しさを増し、厳しい環境下にありました。また、当社グループの一方の柱であります総合環境衛生事業におきましても、得意先である製造業、小売業並びに医療機関における経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは引き続き「収益力の向上」をテーマに掲げ、積極的な営業活動と、製造原価の低減や販売管理費の削減等による経営の効率化に努めました。その結果、当第3四半期の売上高は731億53百万円（前年同期比17億40百万円、2.4%増）、経常利益は101億74百万円（前年同期比4億29百万円、4.4%増）、四半期純利益は55億8百万円（前年同期比5億16百万円、8.6%減）となりました。四半期純利益が減益となった要因は、前第3四半期において厚生年金基金代行返上益17億49百万円を特別利益として計上したことによるものです。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

① 家庭用品事業

殺虫剤分野におきましては、家庭用医薬品殺虫剤「アースレッド」は市場規模の縮小に伴い売上は伸び悩みました。家庭用一般殺虫剤では、ハエ・カ用殺虫剤「電池でノーマット」、「アースジェット」はそれぞれ新製品の投入もあり売上を伸ばしました。また、ゴキブリ用殺虫剤は新製品「ブラックキャップ」は好調に推移しました。

日用品分野におきましては、口腔衛生用品において、歯磨き用品「アクアフレッシュ」は新製品の投入により売上を伸ばし、義歯関連商品「ポリデント」はトップブランドとして堅調に推移しました。入浴剤その他において、「エアコン洗浄スプレー」がリニューアル効果により大幅に売上を伸ばしました。

以上の結果、当事業における売上高は630億72百万円、営業利益は95億7百万円となりました。

② 総合環境衛生事業

総合環境衛生事業は、食の安心安全への志向が高まる中、各得意先企業の体型、体質、体力にあった品質保証の仕組みを、オリジナルなエスコハシップ（ESCO-HACCP）として導入、拡大してまいりました。

以上の結果、当事業における売上高は100億81百万円、営業利益は10億67百万円となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比率が高いため、売上高は上半期に多く計上されるという季節変動要因があります。一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期ごとの売上高や利益には著しい相違があります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年12月期第3四半期	66,553	31,211	46.9	1,814	61
16年12月期第3四半期	64,503	28,701	44.5	1,668	70
(参考) 16年12月期	52,308	25,747	49.2	1,495	04

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第3四半期	9,344	△825	△445	22,056
(参考) 16年12月期	6,726	△2,796	1,922	13,926

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末と比較して142億44百万円増加しました。増加の主なものは、流動資産の「現金及び預金」で81億30百万円、「受取手形及び売掛金」で62億20百万円、流動負債では「その他」で54億93百万円などであり、株主資本は利益剰余金などで54億64百万円増加しました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が99億72百万円となり、売上債権および棚卸資産が増加いたしました。93億44百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入がありましたが、有価証券および有価固定資産の取得等により、8億25百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加がありましたが、長期借入金の返済や株主配当金の支払等により、4億45百万円の減少となりました。

これらの結果、当第3四半期の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ81億30百万円増加し220億56百万円となりました。

○添付資料

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参考]

平成17年12月期の連結業績予想（平成17年1月1日～平成17年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	82,702	5,159	2,421

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 122円97銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当初の計画通り推移しており、平成17年10月27日発表の通期の業績予想に変更はありません。

# 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期末)		当四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)		増 減 金 額	(参考) 平成16年12月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
I 流動資産	44,839	69.5	47,142	70.8	2,303	33,295	63.7
1. 現金及び預金	21,958		22,056		97	13,926	
2. 受取手形及び売掛金	12,831		13,858		1,026	7,638	
3. 棚卸資産	8,375		9,621		1,245	9,533	
4. その他	1,673		1,606		△66	2,197	
II 固定資産	19,663	30.5	19,410	29.2	△253	19,012	36.3
1. 有形固定資産	15,606		14,896		△709	15,234	
2. 無形固定資産	396		511		114	379	
3. 投資その他の資産	3,660		4,002		341	3,399	
資産合計	64,503	100.0	66,553	100.0	2,049	52,308	100.0
(負債の部)							
I 流動負債	30,850	47.8	30,213	45.4	△636	21,685	41.5
1. 支払手形及び買掛金	13,918		13,548		△370	11,641	
2. 未払金	5,435		6,095		659	4,967	
3. その他	11,496		10,570		△926	5,076	
II 固定負債	1,886	2.9	2,003	3.0	117	2,083	4.0
1. 退職給付引当金	1,187		1,543		355	1,343	
2. その他	698		460		△238	739	
負債合計	32,736	50.7	32,217	48.4	△519	23,768	45.5
(少数株主持分)							
少数株主持分	3,065	4.8	3,124	4.7	59	2,792	5.3
(資本の部)							
I 資本金	1,040	1.6	1,040	1.5	—	1,040	2.0
II 資本剰余金	250	0.4	250	0.4	—	250	0.5
III 利益剰余金	27,153	42.1	29,219	43.9	2,065	24,114	46.1
IV その他有価証券 評価差額金	422	0.7	790	1.2	368	520	1.0
V 為替換算調整勘定	△164	△0.3	△88	△0.1	75	△178	△0.4
資本合計	28,701	44.5	31,211	46.9	2,509	25,747	49.2
負債、少数株主持分 及び資本合計	64,503	100.0	66,553	100.0	2,049	52,308	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期)		当四半期 (平成17年12月期 第3四半期)		増 減 金 額	(参考) 平成16年12月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売上高	71,412	100.0	73,153	100.0	1,740	80,188	100.0
II 売上原価	41,876	58.6	42,165	57.6	288	47,414	59.1
売上総利益	29,536	41.4	30,988	42.4	1,452	32,774	40.9
III 販売費及び一般管理費	20,016	28.1	21,013	28.8	996	27,834	34.7
営業利益	9,519	13.3	9,974	13.6	455	4,939	6.2
IV 営業外収益	343	0.5	358	0.5	14	478	0.6
1. 受取利息	15		16		0	15	
2. 受取配当金	9		16		6	15	
3. ロイヤリティー収入	35		27		△8	34	
4. 受取家賃	133		125		△7	178	
5. その他	149		172		23	234	
V 営業外費用	118	0.2	158	0.2	39	493	0.6
1. 支払利息	26		15		△11	36	
2. 棚卸廃棄損失	52		99		47	391	
3. 減価償却費	28		13		△14	35	
4. その他	11		29		18	30	
経常利益	9,744	13.6	10,174	13.9	429	4,924	6.2
VI 特別利益	1,903	2.7	88	0.1	△1,814	1,949	2.4
1. 固定資産売却益	0		22		22	6	
2. 貸倒引当金戻入益	154		65		△88	194	
3. 厚生年金基金代行返上益	1,749		—		△1,749	1,749	
VII 特別損失	492	0.7	290	0.4	△202	856	1.1
1. 固定資産売却却損	49		14		△35	152	
2. 投資有価証券評価損	0		—		△0	0	
3. ゴルフ会員権評価損	6		0		△5	11	
4. 退職給付変更時差異償却額	352		275		△77	462	
5. 早期退職金	42		—		△42	189	
6. その他	42		—		△42	42	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	11,154	15.6	9,972	13.6	△1,182	6,017	7.5
税金費用	4,635	6.5	4,082	5.6	△552	2,530	3.2
少数株主利益	494	0.7	381	0.5	△112	500	0.6
四半期(当期)純利益	6,025	8.4	5,508	7.5	△516	2,986	3.7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	(参考) 平成16年12月期
	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	9,972	6,017
2. 減価償却費	858	1,178
3. 売上債権の増減額 (△は増加)	△6,097	2,042
4. 棚卸資産の増加額	△59	△253
5. 仕入債務の増加額	1,891	919
6. その他	4,399	△1,054
小計	10,965	8,849
7. 利息及び配当金の受取額	32	31
8. 利息の支払額	△15	△36
9. 法人税等の支払額	△1,637	△2,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,344	6,726
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1. 有価証券の取得による支出	△591	△865
2. 有価証券の売却による収入	725	932
3. 有形固定資産の取得による支出	△393	△2,959
4. 有形固定資産の売却による収入	78	40
5. 投資有価証券の取得による支出	△181	△185
6. 投資有価証券の売却による収入	—	25
7. 子会社株式の取得による支出	△114	△130
8. 貸付けによる支出	—	△0
9. 貸付金の回収による収入	9	13
10. 定期預金の預け入れによる支出	△100	—
11. 定期預金の解約による収入	—	53
12. 営業譲渡による収入	—	145
13. その他の投資活動による支出	△295	△123
14. その他の投資活動による収入	36	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825	△2,796
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1. 短期借入金の純増減額	2,500	△19
2. 長期借入れによる収入	—	2,500
3. 長期借入金の返済による支出	△2,581	△451
4. 配当金の支払額	△344	△96
5. 少数株主に対する配当金の支払	△20	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445	1,922
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	55	△4
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	8,130	5,848
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	13,926	8,078
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	22,056	13,926

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期(平成17年12月期第3四半期)

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,072	10,081	73,153	—	73,153
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	369	90	459	(459)	—
計	63,441	10,171	73,613	(459)	73,153
営業費用	53,934	9,104	63,038	140	63,179
営業利益	9,507	1,067	10,574	(600)	9,974

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用品(殺虫剤及び日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等))、防疫・農林畜産薬剤、海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

(参考)平成16年12月期

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	67,543	12,645	80,188	—	80,188
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	449	136	585	(585)	—
計	67,992	12,781	80,774	(585)	80,188
営業費用	63,745	11,470	75,216	32	75,248
営業利益	4,246	1,311	5,558	(618)	4,939

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用品(殺虫剤及び日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等))、防疫・農林畜産薬剤、海外向け殺虫剤原材料、単結晶製品の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

[所在地別セグメント情報]

当四半期(平成17年12月期第3四半期)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(参考)平成16年12月期

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当四半期(平成17年12月期第3四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考)平成16年12月期

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。